

製品名: CD130 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87024**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:104 kDa; Observed MW:130 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD130
別名	CD130; GP130; CDW130; IL-6RB
遺伝子ID	3572
SwissProt ID	P40189
免疫原	ヒトCD130の組み換えタンパク質

背景

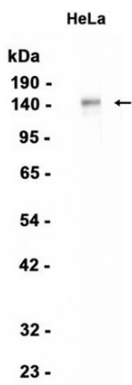
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 6 (IL6)、毛様体神経栄養因子 (CNTF)、白血病阻害因子

(LIF)、オンコスタチン M (OSM) など、多くのサイトカインに共通するシグナル伝達物質です。このタンパク質はサイトカイン受容体複合体の一部として機能します。このタンパク質の活性化は、サイトカインがその受容体に結合することに依存します。IL6 に関連し、カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスによってコードされるタンパク質 vIL6 は、インターロイキン 6 受容体 (IL6R) を迂回してこのタンパク質を直接活性化することができます。マウスを用いたノックアウト研究では、この遺伝子が心筋細胞のアポトーシス制御に重要な役割を果たすことが示唆されています。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが報告されています。関連する偽遺伝子が 17 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



CD130 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。